

R.I.D 2550 TOCHIGI GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2024.08

Vol.2

Rotary

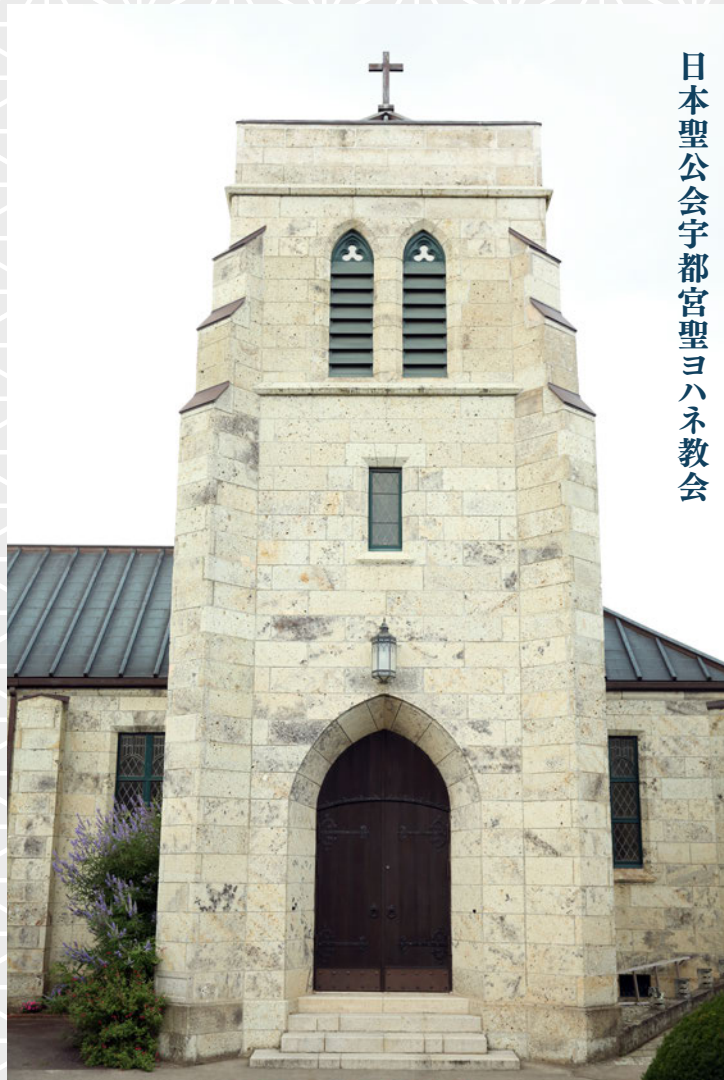


ハイライトよねやま

ロータリー文庫通信

国際ロータリー第2550地区【栃木】2024-2025年度

My ROTARY | Rotary International



日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会

実施行事報告 06

- 第20回 RYLAセミナー報告
- 栃木ロータリークラブ70周年記念事業報告

記事をタップ
ページにとびます



07 新入会員紹介

08 ローター特別月間
主要行事予定

09 会員数報告

10 コーディネーター
NEWS

11 ハイライトよねやま
NEWS

12 お知らせ

13 コラム

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「銀座二丁目」





THE MAGIC OF ROTARY

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長は述べます。

4つのテスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか



GOVERNOR MESSAGE

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度ガバナー

市田 登 鹿沼ロータリークラブ

ガバナーメッセージは思うがままに書かせていただきます。

今年度RI会長ステファニー・アーチェックのテーマは「ロータリーのマジック」です。浄水器から出てくる透明な水を見た少年が、「もう一度魔法を見せて」と言われた事に、ロータリーの奉仕の意義を改めて気づかされたのです。

実は、7月の下野新聞に次のような記事が載っていました。今年1月1日に起こった能登半島地震、ここで79歳の女性が被害に遭い半年間給水車での水を頼りに生活したそうです。半年後仮設住宅に入居した時に、記者に「ほら見て」と言って蛇口をひねった。「水が出るなんて夢みたい。魔法かと思ってしまう」。笑いながら頬に涙が伝い、「感謝という言葉の意味をこの年で初めて知った」と口にしたそうです。これはロータリーの奉仕活動とは違いますが、この記事を読んで支援を受けられた方が、心から感謝をしていることを改めて知る記事でした。

奉仕を受けられた方が感謝し、その感謝の心により奉仕をされた方がまた感謝をする。共に感謝の心を持ち、そして明日への生きる術になること、まさに私たちロータリーの奉仕



の理想はここにあるのだと、改めて感じさせられたものです。

今年度の地区のテーマは「ロータリーを楽しもう」としました。ロータリーの楽しみとはいろいろな楽しみがあるかと思います。ロータリーは単に奉仕をする団体ではありません。自分自身が何かどんなことでも、ちょっとしたことでも楽しいことがあるから、会員として存続をしているのではないかと思います。残念ながら退会をされる方もいます。これはロータリーの楽しみを失ってしまったからではないでしょうか。

今月は「会員増強月間」です。自分自身がロータリーの楽しみを知らなければどうして会員増強などできるのでしょうか。

会員皆様がロータリアンとしての真の楽しみを見つけ出し、ロータリアンで良かった、この喜びを一人でも多くの人に分かち合いたいという心が会員増強に繋がるのではないのでしょうか。

CONTRIBUTION BY CHAIRPERSON

会員組織委員会 委員長

狐塚 秀幸 今市ロータリークラブ



会員強化月間によせて

RIアーチック会長は、会長イニシアティブで「各地区純増100名、4つ以上の新クラブ設立」を各地区ガバナーにお願いしました。ここ数年で各地区に課せられた数値目標としては、かなり高い数値であることは間違いありません。このことは、RIが会員増強に対しての強い危機感の現れだと思えます。

RI第2550地区でも例外ではなく、クラブの消滅や会員減少の危機に直面しているのが現状です。会員組織委員会でも強い危機感を感じていて、今までにはない会員増強へのアプローチをしなければならぬと感じています。その中で最も印象的だったのが、Rotary Zone 1A、2&3のGrow Rotary 会員増強の中の一文中、「若い人や女性は義理と人情で会員になってくれないことを認識しましょう」と書かれていたことです。

クラブの入会候補者リストをもとに、「オープン例会を企画しましょう」というのがRIの会員増強のためにやるべき手法として挙げられていますが、こうしたアプローチがこれから必要になるべき手法なのかもしれません。

こうしたことから、本年度の会員組織委員会では、3つの方針を中心に活動していきます。

1つ目はクラブからご依頼をいただいたクラブに訪問し、卓話をさせていただきます。地区の現状や会員増強の必要性を認識していただき、クラブの会員増強の一助になれば幸いです。そして会員にとっての心地よいクラブとしての退会防止につながればと思います。2つ目は地区セミナーの開催です。昨年度は合同セミナーを一度開催させていただいたのですが、開催後のコメントでの評価が上々だったので、本年度は2回開催できればと準備しています。3つ目は昨年度から実施している地区とクラブの対話及び情報交換です。RIの提唱する地区会員増強委員会の4つの責務のうち最も重要なものが、クラブの会員増強委員会への支援です。地区として何ができるのか、クラブは地区にどんなことを求めているのかを模索しつつ、クラブの現状や特色などを伺いながら実施できればと考えています。

クラブに若い人や女性が増えればクラブ内が必ず活性化すると確信していますので、今年一年よろしくお願い致します。



DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度 地区委員長



RLI委員会

委員長 **中谷 研一**
足利東ロータリークラブ



ロータリー財団部門

委員長 **森本 敬三**
大田原中央ロータリークラブ



職業奉仕委員会

委員長 **田中 正夫**
宇都宮南ロータリークラブ



米山記念奨学会委員会

委員長 **田島 良久**
馬頭小川ロータリークラブ



クラブ奉仕委員会

委員長 **内山 浩志**
宇都宮陽南ロータリークラブ



公共イメージ委員会

委員長 **田原 聖**
宇都宮東ロータリークラブ



青少年奉仕委員会

委員長 **中野 智之**
宇都宮南ロータリークラブ



DX推進委員会

委員長 **市井 元**
真岡西ロータリークラブ



社会奉仕委員会

委員長 **日向野 修**
鹿沼ロータリークラブ



ローターアクト委員会

委員長 **松山 栄**
宇都宮東ロータリークラブ



国際奉仕委員会

委員長 **善林 隆充**
宇都宮ロータリークラブ



DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION

RLI委員会

委員長 中谷 研一

足利東ロータリークラブ

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州(RID-7510)で元RI理事デビット・リネット氏の発案で始められた研修組織です。RLIの理念は、「質の高いリーダーシップの研修を通じてクラブの活性化を推進する、草の根の多地区合同プログラムである」とされています。又、RLIは米山記念奨学会同様、RIが承認した多地区合同プログラムのひとつです。

現在、先進国といわれる欧米同様日本でも会員数の減少が続くなか、ロータリーに関して、十分な知識を持たないロータリアンが増え、十分に理解されないまま多くの会員がロータリーを去って行く現実があります。真のロータリーを理解し、ロータリアンとして活動する為には、各クラブの、一人ひとりのロータリアンがロータリーを理解することが必要です。

RLIの研修方法は全員参加型の研修会(ActiveStudy)です。研修の基本コースはパート1からパート3の3コースと卒後コースがあります。前年度当地区では、第1回の卒後コースを開催し活発な討論がおこなわれ、参加者から好評を得ています。RLIは卒後コースを除き、参加者には3コース全ての出席が推奨されています。RLI研修終了後、委員会では、参加者がロータリークラブの活動に積極的に参加され、クラブを活性化し、ロータリーの発展に貢献されることを

強く期待しております。クラブを超え、楽しくロータリーを語り合い親睦を深めましょう!!

会長・幹事エレクトの皆さんをはじめ多く会員の皆様のご参加をお待ちしています。

当委員会では新型コロナウイルス感染症の流行を慎重に見極めながら、原則としてパート1からパート3までin personでの開催を計画しています。下記に2024-25年度委員会活動方針を示します。

【2024-25年度RLI委員会活動方針】

- (1)RLIは質の高いリーダーシップ研修を行い、受講した会員が、自クラブに戻り、そのリーダーシップを広めることで、クラブの活性化を促すことを活動目標とします。
- (2)原則として対面式で研修会を開催：パート1：8月25日、パート2：10月13日、パート3の開催日程は現在調整中。
- (3)セッション内容(規定審議会、行動計画、DEI、クラブ体験等)を強化します。
- (4)ディスカッションリーダー(DL)のスキルアップを図るため、テーマを設け、対面式で研修等を行います。随時DLのレベルアップのため研修会開催します。
- (5)新ディスカッションリーダー育成のための研修会を計画実施します：8月3日。
- (6)新RLI委員会委員をクラブ推薦により積極的に募集します。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



職業奉仕委員会

委員長 田中 正夫

宇都宮南ロータリークラブ

2024-25年度の職業奉仕委員長を仰せつかりました宇都宮南ロータリークラブの田中正夫と申します。よろしくお願い申し上げます。

「ロータリーの根幹は職業奉仕にある」と言われていますが、一方で、「職業奉仕という言葉は難解でよくわからない」ということもよく聞きます。難解なままでは良くありませんので、それを明解にしていくことをテーマにしていきたいと考えております。

市田登ガバナーは、地区目標として「ロータリーを楽しもう」と掲げられました。この地区目標に対して、職業奉仕委員会として何ができるのかを考えていきたいと思えます。2025年1月の職業奉仕月間中にセミナーを開催いたしますので、共に考えていきましょう。

退会防止や会員増強のためには、会員それぞれがロータリアンであることを本当に楽しんでいただく必要が有ります。親睦活動や社会奉仕活動はもちろんですが、会員それぞ

れの職業活動を、より意義深いもの、味わい深いものにしていくことに対して、ロータリークラブが役立つことが大切であると考えます。このことがロータリーの公共イメージの向上にもつながっていくものと思われま

す。冒頭で「明解」という言葉を使いましたが、それは決して一つの答えを出すということではありません。会員それぞれが、それぞれに明解な思考をお持ちになり、それぞれの職業活動を楽しんでいただきたいと願います。「職業奉仕は難しい」と思っている間はロータリーを楽しめません。ロータリークラブの会員ひとりひとりが、ロータリアンであることの幸せを味わっていただき、このことが会員増強や公共イメージの向上につながっていくことを意識しながら、委員会活動を行ってまいります。



DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION

クラブ奉仕委員会

委員長 内山 浩志

宇都宮陽南ロータリークラブ

今年度も前年度に引き続きクラブ奉仕委員長を拝命させて頂きました、宇都宮陽南ロータリークラブ所属の内山浩志と申します。2024年ー2025年ステファニー・AアーチックRI会長のテーマ講演の中に、「世界的に会員人数が減少し、また地区内でもクラブが活発に活動していない。そして会員数が減少傾向にある場合、地域社会に合致した新クラブを結成する時期が来ているのかもしれませんが」とありましたが、第2550地区2024年ー2025年度 市田登ガバナーの「クラブ運営方針と重点項目」におきましては、第一に会員増強各クラブ2名、次に退会防止と掲げております。今年度クラブ奉仕委員会と致しまして、各クラブの将来性・継続性を考え、会員増強・会員維持・退会防止をサポートしていきたいと思っております。

我がクラブ奉仕委員会の中でも、まずロータリー情報委員会はロータリー活動に役立つ「ロータリーの歴史や今までの行動」などを皆さまにお伝えし、そしてクラブ例会プ

ログラム委員会は「ロータリーの歴史は親睦から始まり、ロータリーの親睦は例会である。

例会の内容はとても大切なことである」という事を念頭に置き、各クラブ様へ会員増強・会員維持に役立つような情報を発信し、さらに会員組織委員会は「会員増強・会員維持こそがロータリー活動をするための基本」と考え、今年度6人体制で各クラブ純増2名の目標達成を成し遂げるために、情報収集し依頼があれば卓話等に訪問させていただきま

す。また、クラブ奉仕委員会と致しまして公共イメージ委員会と話し合い、皆さまのお役に立てるようなセミナーの開催なども計画しております。

カウンセラーの石田PGのもと、クラブ奉仕委員会13名で各クラブのクラブ活性化のために、公共イメージ委員会と連携し一年間邁進してまいりますので宜しくお願い致します。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



青少年奉仕委員会

委員長 中野 智之

宇都宮南ロータリークラブ

当地区の青少年奉仕委員会はロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)・青少年交換・インターアクトの3つの部門で構成されています。2024-25年度も前述の3つの部門委員会で活動してまいります。

ロータリーの若者に対する奉仕プログラムはその創成期より盛んにおこなわれ、身体障がい児童の支援や児童労働の改善等人道的支援プログラムが行われた記録が残っています。

1996年のカルガリーRI国際大会でルイス・ビセンテ・ジア元RI会長が、「成功と失敗を分かち要素は、未来へのビジョンです。新世代は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか。」と呼びかけ、人材育成に主眼を置いた「新世代奉仕」としてさらに発展していきました。

その後2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となり名称も「青少年奉仕」となり発展し続けております。『五大奉仕部門』---標準ロータリークラブ 定款第6条

奉仕の第五部門である青少年(新世代)奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらせることを認識するものである。

青少年奉仕部門の3委員会はともにRIの常設プログラムとなっており、その枠組みと方針はRI

理事会より示されます。そしてその目的はともに「未来のリーダーを育む」ことにあります。この目的のため活動する青少年およびこれをサポートするクラブのご支援をしております。

最後に、青少年奉仕プログラムはRIの常設プログラムであり、プログラムの実施に当たってはその方針を遵守することが強く求められております。地区では「青少年保護の方針」および「危機管理規程」を定め、「危機管理委員会」を設置し「危機管理計画」に基づき青少年の保護に努めております。皆様におかれましては、青少年をあらゆる災害・事件・事故・疾病そしてハラスメント(精神的虐待)から守るため「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的内容を熟知いただき、全ての関係者に「虐待およびハラスメントの防止」の周知をお願いします。

また、地区のホームページ(地区委員会ページ)にも掲載してあります「青少年保護の手引き」をご一読いただくとともにクラブ内での共有をお願いします。

*青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、および精神的な虐待から彼らの身を守るため、最善を尽くす責任がある。

「未来のリーダーを育むため」日々活動されておりますクラブの皆様のお役に立つよう努めてまいります。一年間よろしくご挨拶申し上げます。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



社会奉仕委員会

委員長 日向野 修

鹿沼ロータリークラブ

現在、世界全体がSDGsの目標に向けて動いていますが、そのSDGsの持続可能な開発目標17種類の1番目に掲げられたテーマは「貧困をなくそう」であります。

社会奉仕委員会では、この数年にわたり「子供の貧困について」をテーマに活動を続けて参りました。2023年7月に厚生労働省は「2022年国民生活基礎調査」の結果を公表しました。

その中で、子供の貧困率は11.5%と前回調査より2.5ポイント改善しているという結果が出ました。しかし、いまだに日本の貧困問題は「ひとり親家庭による相対的貧困」や「ヤングケアラー」など社会的な問題になっているのが現状です。さらに、昨今の物価高騰により支出が増え、貧困問題を抱える方々にとって、より深刻な状況です。

こういった貧困問題を減らすためには、募金やボランティアといった「個人の力」が欠かせません。特に次世代を担う子供たちを貧困の連鎖から救うために我々ロータリークラ

ブとしてどのような活動を行い、何が必要なのか地区社会奉仕委員会として各クラブの方々と考え、実行していきます。

(活動計画)

1. コロナ禍明けの「子供の貧困」や「ヤングケアラー」の現状を知る。
2. 「子供の貧困」や「ヤングケアラー」を減少するために何が 필요한のかを学ぶ。
3. 「子供の貧困」や「ヤングケアラー」を減少するために何ができるか考える。
4. 地区・各クラブで何を行うか考える
5. 目標を定め計画し、実行する。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



国際奉仕委員会委員会

委員長 善林 隆克

宇都宮ロータリークラブ

グローバル補助金を体験しよう

2023年～2024年度はグローバル補助金を使用した国際奉仕活動を地区内の二つのクラブのお手伝いをすることが出来ました。地区の国際奉仕委員会の役目はグローバル補助金を使った国際奉仕事業をプロジェクトしてそれを地区内のクラブに広めることが地区の国際奉仕委員会の役目だと考えております。その点からすると昨年は真岡クラブと宇都宮西クラブからグローバル補助金にトライしたいとの要望があり、見事に二つのクラブのグローバル補助金事業を達成することが出来ました。

真岡クラブは3350地区スワンチットラダーロータリーブ他9クラブとの医療機器寄贈事業(小児科用胃カメラの導入)を達成することが出来ました。

また、宇都宮西クラブにおいては3350地区サンファンタランロータリークラブ他11クラブとの医療機器寄贈事業(超音波画像機器、エコー)を達成することが出来ました。24年～25年度は鹿沼ロータリークラブが3350地区パトムワンロータリークラブとのグローバル補助金事業が内定しており、今後DDFの申請するところです。

順調に地区内においては積極的にグローバル補助金事業を要望していただいたクラブにプロデュースすることが出来ております。現在、グロ

ーバル補助金事業は海外からの申し込みもあり、今やRIのメイン事業となっております。2024年～2025年度のRI会長の所信に書かれています。ロータリーマジックというフレーズがあります。このロータリーマジックとはまさにこのグローバル補助金事業を指しています。なぜこんな少ない予算でこれだけの大きなプロジェクトができるのか。これがまさにロータリーマジックなのです。また、このグローバル補助金事業を体感していないクラブの皆様には是非一度ロータリーマジックとはこういうことかということを感じていただきたいと考えています。また、グローバル補助金事業にチャレンジしたいクラブがございましたら、お手伝いをさせていただきますので、是非お申し込みを地区の国際委員会にお申し込みをお願いします。

国際奉仕は現場に行かなくてはわかりません。是非、チャレンジしてみてください。

委員会活動計画

- ①グローバル補助金活用の国際奉仕活動の実践。
- ②具体的支援国への訪問(前年度グローバル補助金事業の現地視察)
- ③姉妹クラブ・友好クラブの推進。



DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION

ロータリー財団委員会

委員長 森本 敬三

大田原中央ロータリークラブ

いよいよ2024-25年度「ロータリーのマジック」が始まりました。

1917年アーチ・クランフが提唱して始まったロータリー財団ですが、107年の歳月が経ち財団の取組みも大きく変わりました。ロータリー財団設立100周年を契機として「未来の夢計画」が発表・導入され、7年が過ぎ会員の皆様もその新しい奉仕活動の取り組み方にも馴染んでこられたものと思います。

ロータリー財団は社会の変化と共にまだまだ変わってまいります。地区財団委員会では皆様に的確な情報を、わかりやすくお伝えするべくハンドブック並びに資料編を制作し、各クラブ会長、財団委員長様に配布させていただいています。

延長されました行動計画並びに4つの優先事項を奉仕活動の柱に据えられ、地区補助金並びにグローバル補助金を活用し、社会奉仕、国際奉仕活動を取組まれクラブ活力の源となりますようご期待申し上げます。

また、財団委員会では今年度、下記の目標

を設定し取組んでまいりたいと思います。

何卒、ご支援ご協力賜ります様お願い申し上げます。

☆ ロータリー財団委員会の目標 ☆
(皆様、宜しくお願い致します)

- 1、年次寄付お1人150ドル(3年後の地区補助金に影響致します)
- 2、ポリオ・プラスお1人30ドル(野生株ポリオウイルスの根絶)
- 3、ポール・ハリス・ソサエティ(毎年1,000ドルを誓約される方) 10名目標
- 4、ポリオ・プラス・ソサエティ(毎年100ドルを誓約される方) 50名目標
- 5、ロータリーカードの普及、拡大(個人カード、クラブカード)自動定期寄付を利用する会員を10%増やす
- 6、恒久基金・冠名基金 1件以上設立
- 7、財団学友会の充実
- 8、世界ポリオデーの推進
- 9、ロータリー平和フェロシップの推進

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



米山記念奨学会委員会

委員長 田島 良久

馬頭小川ロータリークラブ

昨年度に引き続き、地区の委員長を仰せつかりました田島良久と申します。所属クラブは馬頭小川ロータリークラブです。不慣れではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。

米山記念奨学会の事業とは、海外からの優秀な留学生を受け入れ奨学金を支給すると共に、日本の文化を理解し、私達も海外の文化を理解交流を図り、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動の良き理解者と成る人材を育成する事で、ロータリアンが目指す世界平和を求める全世界に誇れる国際奉仕事業であります。

米山記念奨学会は、国際ロータリーから認められた日本34地区合同によるプロジェクトです。そして、公益財団法人として57年経過し、全てロータリアンの寄付支援金によって運営しております

2023年度の奨学生数は900人、事業費は14億4千万円(22-23年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は23,509人(23年7月現在)、その出身国は世界

131の国と地域に及んでおります。

本年度の目標としまして、一年を通じ、奨学生と地区内の会員との交流の機会を増やし、奨学会活動のさらなる理解を推進していきたいと考えます。ただ、活動するにも、やはり経済的に非常に困窮している現状ですので、各クラブへの「特別援助」を、お願いせざるを得ない状況ですので会員の皆様には御理解の程お願い致します。

今年度の学生数は22名ですが、次年度は23名に成ります。これは2年前の地区内の会員の皆様より納入して頂いた普通寄付・特別寄付・金額等によって決まりますので、支援金額が少なくなると奨学生の採用枠も減ってしまいますので、会員の皆様には更なる御理解して頂くと共に、委員会としても学友会の活動をする事により、寄付支援金額の増加が期待でき、採用枠の増加に繋がり、ロータリー活動の中の米山奨学会活動をさらに活性化していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



公共イメージ委員会

委員長 田原 聖

宇都宮東ロータリークラブ

昨年度に続き、2024-25年度公共イメージ委員長を仰せつかることになりました宇都宮東ロータリークラブの田原聖です。

市田ガバナーが掲げられた地区方針の中で、「ポリオ撲滅活動の推進」とし、あと少しでポリオの撲滅が可能となったが、ここからが正念場である。ロータリアンが最後まで世界の子供たちに誓った約束を守りましょうと述べられました。

また、地区グループでの共同活動の重要性について述べられ、共同活動を活発に推進されております。ぜひ10月24日、世界ポリオデーに合わせて、クラブ又はグループなどで、イベントを行ってみませんか。ロータリーを知らない方にPRして頂きたく思います。

ステファニーA. アーチックRI会長エレクトは、「ロータリーのマジック」というテーマを掲げられました。私たちがクラブについて人々に伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされると述べられております。

ロータリアン自身がRotaryの価値を再認識し、クラブの素晴らしさを外に向けて、熱心に発信することが大切です。ロータリーの魅力を一般社会に伝えられれば、公共イメージの向上に

つながり、ロータリーの更なる発展向上の推進力になるものと信じます。皆様のご協力よろしくお願い致します。

【本年度の活動目標】

地区をあげて公共イメージ向上を図る

- ・昨年度同様、ポリオデーイベントの広報活動、配布資料作成のお手伝いをさせて頂きまず。

- ・DX推進委員会と協力して、地区やクラブの情報発信を、HPやSNSで行います。

- ・各委員会と協力して、会員増強やそれにつながる公共イメージ向上を学ぶセミナーを開催致します。

公共イメージに関する情報収集とその発信

- ・各クラブの公共イメージ委員会、または会長幹事様に公共イメージに関する情報提供を定期的に行います。

- ・2550地区のみならず他地区、他地域の情報収集を行い発信し、会員の意識向上を後押し致します。

マスメディアへの情報提供

- ・各クラブ、各委員会のイベント（周年行事、奉仕活動、グローバル補助金活用など）の事前情報を集約し、各マスコミにスケジュール情報を提供致します。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



DX推進委員会

委員長 市井 元

真岡西ロータリークラブ

2024-25年度国際ロータリー第2550地区DX推進委員長を務めます、真岡西ロータリークラブの市井元です。クラブをより効果的に活動する為にDX(デジタル)を推進いたします。今までの形式にとらわれず、データとデジタル技術を活用して会員や社会のニーズ及び課題を基に、クラブ活動や奉仕のありかた、やり方、クラブの文化、風土をダイナミックに変革することが求められています。地区のウェブサイトや月信のデジタル化を継続し情報発信を強化してまいります。各クラブのブランディング支援を実施し、クラブのWEBサイト活用やSNS(ソーシャルメディア)の活用をご支援いたします。

【今年度の活動目標】

クラブの運用効率化を図るためDX(デジタルトランスフォーメーション)を実践的に支援いたします。

1・MY ROTARYの活用促進支援

「MyRotary」の登録および活用を支援させていただきます。スマートフォンからマイロータリーにアクセスできるようにし、情報取得を身近なものにしていく。クラブの長期計画や目標の管理に欠かせない「クラブセントラル」の運用の支援します。特に今年は時代の変化とともに具体的

に変化していくために、新たな挑戦のチャンスと捉え3年計画の目標と計画をたてスムーズにクラブセントラルを登録活用し、クラブの活性化を図っていくため支援を行ってまいります。

2・ソーシャルメディアの活用支援

各クラブの情報発信のデジタルを強化し、各クラブのホームページやFacebookを立ち上げ、ソーシャルメディア運用方法や情報提供を通して、実践的に各クラブのブランディングをご支援させていただきます。

3・ローターアクト・インターアクトの情報発信を強化します。今年度よりローターアクトクラブでクラブセントラルの利用も開始されました。ロータリークラブと同様にクラブの目標設定、実績の記録、将来の計画などにご活用できます。クラブの長期的なビジョンにし沿った年次目標を設定することでクラブの成功に繋がります。

4・紙ベースから電子ベースへ(FAXや郵便をできるだけ廃止し、電子化へ)◆Eメールの登録100% (MyRotary登録との連動のため)

)SNSを活用しロータリーとクラブに対する認識を地域社会で高めるためにも会員の皆様のご協力よろしく申し上げます。

DISTRICT CHAIRPERSON INTRODUCTION



ローターアクト委員会

委員長 松山 栄

宇都宮東ロータリークラブ

ロータリーを楽しもう。一致協力

2024-25年度RI2550地区ローターアクト委員会は、今期から5つのローターアクトクラブ(RAC)が活動し、近年にないクラブ数となりました。

クラブ名(提唱クラブ):宇都宮東RAC(宇都宮東RC)・足利東RAC(足利東RC)・作新学院大学RAC(宇都宮東RC)・蔵の街とちぎRAC(第6G)・足利大学RAC(足利東RC)

そこで、上記5つのクラブのローターアクターがロータリーに参加してよかったと思える一年にしたいと委員会はRIJYEM主催の「全国ローターアクト委員長・ローターアクト代表合同会議」への参加を通し、ロータリアンとローターアクターが互いに協力し支え合う新しい方法を探り出し「会員増強」・「ポリオ撲滅活動の推進」・「地区グループでの共同活動」に役立てたいと思います。

また、今期よりローターアクターは元よりロータリアンの皆さまからのご寄付で運営す

る「ローターアクト奉仕基金」がスタートします。どうか末永くローターアクターを見守ってください。

【地区ローターアクト委員会の方針】

- * RIJYEM全国ローターアクト委員長・ローターアクト代表合同会議へのオンライン参加
- * 新規ローターアクトクラブの設立
- * 持続可能な継続できる奉仕活動の推進
- * ロータリー地区大会でのローターアクト年次大会の開催(他地区RAの講師を呼びたい)
- * 地区研修協議会のローターアクターの参加
- * 議決権のある重要な会議への参加(全国研修会・関東ブロック研修会・第1エリア会議)

【各ローターアクトクラブの方針】

- * 会員増強に力を入れよう

第1グループ

大田原



会長
橋本 忠明



幹事
吉川 秀之

黒磯



会長
藤崎 善隆



幹事
北畠 大輔

西那須野



会長
太田 仁



幹事
梅村 悟志

黒羽



会長
坂本 瞭



幹事
吉成 慶司

大田原中央



会長
藤田 善幸



幹事
平山 賢一

第2グループ

烏山



会長
滝口 貴史



幹事
堀江 竜也

氏家



会長
鉢村 悦男



幹事
佐藤 健太郎

馬頭小川



会長
高野 徹也



幹事
大熊 貞雄

高根沢



会長
齋藤 友紀雄



幹事
鈴木 章夫

第3グループA

宇都宮



会長
明賀 一博



幹事
田嶋 久登志



会長
鈴木 徳郎



幹事
溝邊 岳秋



会長
藤田 克彦



幹事
藤井 良

宇都宮90



会長
床井 忠夫



幹事
増田 智義



会長
高橋 順也



幹事
須賀 正人

宇都宮陽北

宇都宮東



会長
細谷 俊夫



幹事
伴 誠



会長
市原 久典



幹事
五十畑 嘉



会長
広瀬 孝次



幹事
小花 伸子

第3グループB

宇都宮南

宇都宮陽南



会長
中里 和生



幹事
岡本 源二郎

宇都宮さつき



会長
増子 邦彦



幹事
柴田 賢司

宇都宮陽東



第4グループ

真岡



会長
中川 宏行



幹事
小金 幹典

益子



会長
佐藤 広志



幹事
豊田 有子

真岡西



会長
鴨田 修



幹事
山本 正

下野上三川



会長
栗田 敏幸



幹事
大林 恒男

第5グループ

小山



会長
黒澤 昭夫



幹事
鈴木 隆作

小山南



会長
島中 晨一



幹事
西堀 和男

小山東



会長
伊東 正郎



幹事
外山 明雄

小山北



会長
板橋 智



幹事
濱野 昌直

小山中央



会長
星野 昌司



幹事
齋藤 弘明



第6グループ

栃木



会長
高田 弘



幹事
新井 博



会長
松崎 武代



幹事
寺内 将光



会長
市村 隆



幹事
安藤 宣好

壬生



会長
川嶋 健市



幹事
篠原 真美



会長
関口 國夫



幹事
鈴木 和子

栃木南

第7グループ

日光



会長
岸野 稔



幹事
今井 昌英



会長
岩本 泰史



幹事
宇賀神 康明



会長
高森 一政



幹事
廣田 博弥

鹿沼東



会長
大門 信吾



幹事
篠原 浩



会長
石川 さやか



幹事
小太刀 裕一

鹿沼中央



会長
齋藤 宏明



幹事
水谷 知永

今市きぬ



第8グループ

足利



会長
亀井 孝哲



幹事
長谷川 浩之

足利東



会長
鈴木 利男



幹事
小座野 清博

足利西



会長
世取山 晃央



幹事
萩野 純三

足利わたらせ



会長
栗原 順一



幹事
茂木 正人

第9グループ

佐野



会長
永島 正志



幹事
浅野 邦裕

葛生



会長
保科 純一郎



幹事
川上 卓也

田沼



会長
大島 準



幹事
山越 智行

佐野東



会長
栗崎 卓二



幹事
椎名 香枝



ローターアクトクラブ

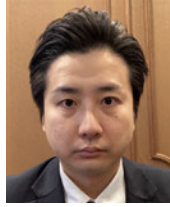
足利東



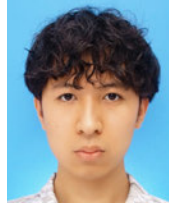
会長
石井 政樹



幹事
田邊 裕司



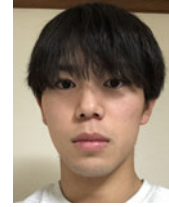
会長
田嶋 祐哉



幹事
工藤 光一郎



会長
大森 景太



幹事
大津 真優

蔵の街とちぎ



会長
大木 溪一郎



幹事
ラマ ユバラジ

足利大学



会長
ポプルホノフ
アスリディン
アクバル・アグリ



幹事
シェルパ
ラクパ・チリ



EVENT REPORT No,01

2024年6月9日

第20回 RYLAセミナー報告

RYLA委員会 委員長
宇都宮南ロータリークラブ 長谷川 博夫

高校生RYLAセミナーを開催して

第2550地区高校生RYLAセミナーを6月9日(日)に宇都宮文星女子高等学校を会場に開催いたしました。20回も迎えることができました。

毎年恒例の模擬国連のプログラムです。今回の議題は「安保理改革」でした。世界のあらゆるところ紛争問題が勃発してる昨今国連存在意義などを日本模擬国連のインストラクター3名のリードで開催しました。

第2,550地区の各ロータリークラブより推薦を受け参加した高校生には、セミナー始まると同時に国別割にて自分の担当する国のスタンスペーパーをもとに、自国の立ち位置他国の状況を調査開始します。自身の知識と情報を(ウェブでの検索等も可能、)じっくりと自国の国益を探ります。

昼食後の午後から議長を介して各国大使が意見を発言、他国の意見も聞きながら交渉相手となる国を探します。

次の段階では、各国自由に他国との交渉にのぞみます、安保理常任理事国、非常任理事国が国益となる採択を目指して、お互いの

妥協点を見つけながら交渉を続けます。最後に参加国全体での採択を行い終了します。今回も、「積極性」「考察力」「発言内容」それぞれに優れた大使にアワードを用意しました。模擬国連インストラクターがセミナー中にそれぞれに優れた受講生を選出、その理由を発表しながらの授賞式では、受講生のうれしそうな表情が印象的でした。

毎年来場時には不安そうな表情の受講生も多くみられましたが、交渉のポイントなどを的確にアドバイスし、議場が盛り上がるよう誘導してくれた模擬国連インストラクターのおかげもあり、リサーチ、交渉と時間の経過とともに、積極的に明るくなってゆく様子



06 | 実行事報告 | 第20回RYLAセミナー報告

が見られました。

セミナー後のアンケートでも、交渉の難しさ、発言時の恥ずかしさなど消極的な部分があるが、セミナー後半には積極的になれたことや、楽しさが変わったなどの声が多く、委員会一同、開催してよかったと思える一日でした。

RYLA（ロータリー青少年指導者プログラム）とは、ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨きます。

第2550地区RYLA委員会では、今後も「高校生RYLAセミナー」と社会人向け「一般RYLAセミナー」を通して、若い方たちが地域のリーダーを目指すきっかけとなり、交流をもってもらえるよう委員会一同、各種プログラムを用意して活動していきたいと思えます。

2024-25年度の今年度は栃木県の新施設『栃木JIMINIE倶楽部自然の家みかも』で一般RYLAセミナーを11月9日（土）～10日（日）に一泊二日で開催予定です。

18歳から30歳までを対象としております。ロータリアンの皆様の企業の社員やご家族、大学生、専門学校生など、将来リーダーとなって活躍してほしい若者のご推薦をお願いいたします。

最後に、開催にあたりご協力いただいたロータリアンの皆様、学校関係者の皆様、ありがとうございました。





EVENT REPORT No.02

2024年6月9日

栃木ロータリークラブ 70周年記念事業報告

栃木ロータリークラブ 直前会長 阿部 幸央

「ジュディ・オング講演会」

栃木ロータリークラブでは、創立70周年記念事業として、2024年6月9日(日)に栃木文化会館にて「ジュディ・オング講演会～輝いて生きる～」を開催いたしました。ジュディ・オングさんが、ロータリークラブのポリオ根絶大使を務められている関係で今回の講演会の開催となりました。

講演は、歌手・女優・版画家として活躍されているジュディ・オングさんの、多彩なご経験を基に「好奇心がすべてのものごとのスタート」と会場の皆さんに呼びかけられ、2時間楽しく、元気をいただけるお話をいただきました。当日は700名以上の市民の方に集まりいただき、第2550地区のロータリアンの方にも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。

ジュディ・オングさんの講演会の前には、栃木ロータリークラブと関わりのあった、2名の米山奨学生と1名の交換留学生在が体験談をスピーチし、ロビーでは、國學院栃木高校のインターアクトクラブのメンバーがペットボトルキャップを、蔵の街ローターアクトク

ラブのメンバーが絵本再生プロジェクト用の絵本・図鑑などの回収を行い、多くの市民の方々がご協力下さり、キャップは約30袋、本は約100冊集まりました。

又、講演会終了後、ロビーにてポリオの募金活動をし、ご参加いただいた多くの市民の方々にご協力をいただき、約18万円の募金が集まり、ロータリー財団に送らせていただきました。

今回の記念事業では、多くの市民の方に栃木ロータリークラブ、そしてロータリーを知っていただく良い機会となりました。これからも、さらに地域に必要なクラブであり続けられるよう、メンバー一同努力していきたいと思っております。





日光RC

金谷ホテル株式会社
取締役情報システム部長

宇角 恒哉

(うかく こうや) 2024.1.1入会

この度のご縁に感謝いたします。
今後ともよろしく願います。



佐野RC

税理士法人あさひ
佐野支部

田口 裕太

(たぐち ゆうた) 2024.7.22入会

立派なロータリアンになれるよう頑張ります。佐野RCの一員に慣れたことを非常に嬉しく思います。



栃木南RC

関東旅行(株)
専務取締役

平池 成光

(ひらいけ まさみつ) 2024.7.4入会

よろしくお願い致します。



足利西RC

(株)シー・アール・エス
代表取締役

吉田 数也

(よしだ かずや) 2024.7.2入会

足利西RCの一員として、微力ながら社会貢献をしていきたいと思ひます。



大田原RC

(株)栃木銀行大田原支店
支店長

大原 真二

(おおはら しんじ) 2024.7.4入会

皆様と共に地域に貢献していきたいと思ひます。宜しくお願いします。



足利東RC

(株)テラトレーディング
代表取締役社長

尾花 正一

(おばな しょういち) 2024.6.11入会

多くの方々に誘われてロータリアンになりました。宜しくお願いします。



日光RC

(株)足利銀行日光支店
支店長

千葉 茂樹

(ちば しげき) 2024.7.2入会

ロータリー活動は初めてですが、楽しく積極的に参加したいと思います。



栃木南RC

(株)関東エコリサイクル
代表取締役

松本 弘樹

(まつもと ひろき) 2024.7.4入会

よろしくお願い致します。



下野上三川RC

農業

稲葉 秀一

(いなば しゅういち) 2024.7.3入会

農業を通じて日本だけでなく国際社会にも貢献していきたいと思ひます。



大田原RC

今井珠算塾
代表

今井 玲子

(いまい れいこ) 2024.7.4入会

これからロータリーの奉仕の理念を学び、社会に貢献したいと思います。



足利わたらせRC

足利電工株式会社
代表取締役

本島 孝文

(もとじま たかふみ) 2024.6.6入会

よろしくお願い致します。

NEW MEMBER

ロータリー特別月間

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 (ロータリーの友月間)	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 (米山月間)	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

9月・10月には、日本独自の月間テーマが設定されています。()内

2024年主要行事予定

月	日・曜日	地 区 内	場 所
8	4(日)	25-26年度ロータリー1年交換学生選考試験	コンセーレ
	9(金)	第28回地区インターアクト年次大会(ホスト:宇都宮女子高等学校)	宇都宮文化会館
	25(日)	RLIパートI	ホテルニューイタヤ
	31(土)	財団補助金支給説明会	ベルヴィ宇都宮
9	3(火)	ゴルフ選手権大会	日光カントリー
	7(土)	青少年交換第1回オリエンテーション	古峯神社
10	6(日)	クラブ奉仕セミナー(予定)	ホテルニューイタヤ
	10(木)	25-26年度第1回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	13(日)	RLIパートII	ホテルニューイタヤ
11	9(土)~10(日)	RYLAセミナー	栃木JIMINIE倶楽部 自然の家みかも
	8(金)	24-25年度地区大会記念ゴルフ大会	鹿沼カントリークラブ
	14(木)	25-26年度第2回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	17(日)	第27回地区親善野球大会	鹿沼市運動公園野球場 (ヤオハンいちごパーク)
	30(土)	2024-25 地区大会 会長・幹事会 研修会 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ホテル東日本宇都宮
12	1(日)	24-25地区大会 本会議	かめまヶーブルテレビホール(鹿沼文化センター)
	8(日)	2025学年度米山奨学生選考試験	ホテルニューイタヤ
	15(日)	青少年交換第2回オリエンテーション	とちぎ青少年センター
	8or22	RLIパートIII	

国際ロータリー第2550地区6月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未 満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	
第1グループ	大田原	3	19	19	0	0	0	0	0	1	0
	黒 磯	4	35	30	0	5	0	5	-5	3	0
	西那須野	3	46	43	0	0	1	4	-3	2	0
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	2	22	21	0	0	0	1	-1	1	0
第2グループ	鳥 山	4	15	14	1	2	1	2	-1	3	0
	氏 家	4	24	26	0	0	3	1	2	3	1
	矢 板	3	7	0	0	7	0	7	-7	0	0
	馬頭小川	3	17	15	0	2	0	2	-2	0	0
	高根沢	4	13	11	0	1	0	2	-2	0	0
第3 Aグループ	宇都宮	4	101	93	3	4	9	17	-8	3	1
	宇都宮西	4	64	64	2	1	4	4	0	0	1
	宇都宮北	4	42	38	0	2	2	6	-4	0	0
	宇都宮90	4	40	38	0	3	6	8	-2	5	2
	(宇都宮90結・衛星)	2023.10.6脱会		0	0	0	0	4	-4	0	0
宇都宮陽北	4	46	48	0	0	6	4	2	6	3	
第3 Bグループ	宇都宮東	3	105	102	0	0	5	8	-3	0	2
	宇都宮南	4	55	56	0	1	5	4	1	6	0
	宇都宮陽東	4	47	48	0	2	5	4	1	10	0
	宇都宮陽南	4	23	19	0	3	1	5	-4	5	3
	宇都宮さつき	4	26	23	0	2	0	3	-3	4	2
第4グループ	真 岡	4	50	49	0	2	2	3	-1	0	0
	益 子	3	29	31	0	1	4	2	2	3	0
	真岡西	3	38	38	0	1	1	1	0	5	0
	下野上三川	4	18	21	0	1	4	1	3	3	1
第5グループ	小 山	4	20	18	0	3	1	3	-2	1	0
	小山南	4	15	15	0	1	1	1	0	2	0
	小山東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	21	24	1	1	4	1	3	0	5
	小山中央	4	24	23	0	0	0	1	-1	2	0
第6グループ	栃 木	4	47	43	0	4	1	5	-4	5	0
	栃木西	4	32	29	0	2	2	5	-3	0	0
	岩 舟	2	8	8	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	4	15	16	0	1	2	1	1	1	0
	栃木南	4	38	35	0	7	4	7	-3	8	1
第7グループ	日 光	3	21	17	0	2	1	5	-4	4	0
	鹿 沼	4	61	63	0	0	4	2	2	2	4
	今 市	2	39	36	0	3	1	4	-3	0	1
	鹿沼東	4	39	41	0	0	2	0	2	5	0
	鹿沼中央	4	15	14	0	0	0	1	-1	2	0
	今市きぬ	2	29	26	0	4	1	4	-3	0	0
第8グループ	足 利	2	22	20	0	0	1	3	-2	1	0
	足利東	3	35	38	1	0	5	2	3	2	0
	足利西	2	9	10	0	0	1	0	1	0	0
	足利わたらせ	3	32	28	1	0	1	5	-4	0	0
第9グループ	佐 野	4	54	47	1	2	2	9	-7	0	0
	葛 生	5	38	39	0	0	4	3	1	0	0
	田 沼	4	45	43	0	1	0	2	-2	0	0
	佐野東	2	21	21	0	0	0	0	0	2	0
	48RC		1595	1530	10	71	97	162	-65	100	27

Rotary
Region 1, 2 & 3 

コーディネーター
NEWS 2024年8月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RC, RPIC, RRF, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉 RC）

「行動計画推進リーダー」この役割を初めて耳にする方もいるかもしれません。ステファニー・アーチック会長は「クラブにおけるアクションプランの推進」を会長イニシアティブのひとつに掲げており、私は文字通りこれらを牽引するための効果的な役割であると心得た次第です。

ご承知のように 2019 年から5か年の期間(2024 年)で「ビジョン声明」と「4つの戦略的優先事項」からなる行動計画が始まりました。しかし計画の大きな目標である会員増強についてはコロナ禍もあり一部の地域を除き会員数は減少しています。

そうしたなか、RIでは昨年 10 月の理事会において 2024 年 7 月 1 日から始まるゾーン・地区・およびクラブに対する 3 年間の目標と 3 年間の rolling regional plan を実施するためのグローバルパイロットプログラムを承認しました。これは 2019 年から始まった行動計画の大きな目標の会員増強を着実に推進していくためのものです。

承認を受け、ガバナーエレクト各位に 2024 年 5 月に地区行動計画推進リーダー指名のご依頼をさせて頂いたところ、すべての地区から行動計画推進リーダーを選出いただき、6 月には「第 1 回地区行動計画推進リーダー ZOOM 会議」を開催いたしました。そこでお伝えした行動計画推進リーダーの役割と今後の具体的な流れとしましては、地区内のクラブにおいてはまずジャパンポータルサイトより「3 年間の目標」をクリック、「My ROTARY ロータリークラブセントラル」へアクセスし、クラブの目標を入力していただけます。また、3 年間の目標に関する Excel 形式のフォーマットがダウンロード可能になっておりますので、各クラブの目標についてクラブ会長を中心に皆様で話し合い、設定していくことを奨励いたしました。もちろん地区の考え、そしてクラブの考えもあることも理解はしますが、ビジョン声明に「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」とありますことから、私たち行動計画推進リーダーは、RC(ロータリーコーディネーター)の方々と協力して、現在ロータリー会員ではない方をお誘いし、現会員と一緒に持続可能な良い変化を生むための世界を目指していくことが肝要と考えております。例えば自クラブが現会員数から〇〇人増えることを想像してみてください。今以上にクラブが活性化していく姿を想像してみてください。ワクワクしませんか？勿論、私たち行動計画推進リーダーは地区、クラブの行動計画推進リーダーの皆さんと行動を共にしていきます。



詳細は桑澤一郎行動計画推進リーダーに作成いただいたアクションプランや「3-year rolling goals」などがジャパンポータルサイトでわかりやすく掲載されております。これらをご参照のうえ、クラブでご活用いただけましたら幸いです。



ジャパンポータルサイト



『ロータリーのマジックを見つけにカルガリーに行きましょう！』

カルガリー国際大会推進チームメンバー 兼推進コーディネーター 服部 陽子（東京広尾 RC）

皆様はロータリーの国際大会に参加なさったことがあるでしょうか？参加した方のリピート率は高いのですが、参加の経験のないロータリアンもたくさんいらっしゃいます。国際大会は友情と学びが融合し、インスピレーションが生まれる舞台とされています。ぜひ今年度はこの特別な機会を逃がさず、世界のロータリアンと共に国際大会ならではの醍醐味を味わいましょう！

今年度の国際大会は、2025年6月21日より25日までカナダのカルガリーで開催されます。22日の開会式の朝には日本人親善朝食会も予定されています。カルガリーはバンクーバーから飛行時間1時間20分、カナダの西部アルバータ州、カナディアンロッキーの麓にある高原都市です。周辺には、美しい湖レイクルーズのあるバンフ国立公園や野生動物に出会えるジャスパー国立公園など、自然に恵まれた魅力的な観光地がたくさんあります。カルガリーは遠い、と感じる方もあるかもしれませんが、なかなか行くチャンスが少ないところこそ、国際大会という機会にぜひ訪れていただきたいと思います。

私は5月のシンガポール国際大会に、所属クラブのメンバー10名と参加いたしました。半分は初めての国際大会への参加でしたが、今迄は想像もできなかったロータリーの世界が見えてきたと感想を述べていました。その中の一人は会長ノミニーでしたが、帰国後にはクラブのリーダーシップを執る準備を進める上での取り組みも変わってきました。ロータリーの広がりや繋がりを肌で感じることでできる国際大会をたくさんの皆様に体験していただけたらと願っております。

恒例の国旗入場に始まる開会セッションでは、RI 会長始めたくさんの魅力的なスピーチやエンターテインメントが繰り上げられます。翌日からの本会議や分科会では、DEI や行動計画など今知りたいテーマが扱われ、世界の会員の声を聞くことができます。RI 会長、RI 会長エレクト主催のランチセッションや地元のロータリアンが工夫を凝らして用意するホスピタリティーイベントなど、人気の高いイベントへの参加も楽しみです。分科会やイベントに積極的に参加して、ロータリー最大のイベント、国際大会を満喫しましょう！

日本推進チームのメンバーが皆様のお手伝いをいたします。ご質問やご相談があればいつでもご連絡ください。

第一地域 伊藤三之(山形北 RC)

lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第二地域 樋口明(神奈川 RC)

higutikk@violin.ocn.ne.jp

第三地域 安行英文(三田 RC)

mayfairchelsea@icloud.com



←カルガリー国際大会ちらし





第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香（岸和田東 RC）

2020-21年度ガバナーを務めさせて頂きました。国際協議会から帰るとコロナ感染拡大により不完全燃焼に終わったミッションの中にパキスタンへのポリオワクチン投与活動参加でした。コロナも落ち着き、今年1月松本(2690地区益田西 RC)団長のもと、チーム・ポリオ・ジャパンに参加させて頂き、現状を勉強させて頂きました。

偶然ですが第3地域ポリオ根絶コーディネーター(2024-27年度)を拝命いたしました。

皆様にご支援をお願いするのに、現場の現状とポリオの発症を防ぐには、ワクチン投与だけではなく七つの重点分野が大きく関わっている事と不衛生な水と社会生活の現状を伝えることができました。パキスタン、さらに世界でポリオが根絶されたら、それは彼女達ヘルスワーカーの働きあってこそ、成し得たのだと言えるでしょう。

根絶活動へのご寄付は、ワクチンを準備し、輸送し、人材を確保するロータリーと、パートナーによる活動を支える力となります。

7月に入りますと、ガバナー訪問が始まります。ガバナーは是非訪問先のクラブで、40年近く取り組んできた、ロータリー最優先課題『ポリオ根絶』に向け、ポリオプラス基金へ毎年年間100ドル以上の寄付をお願いし、PPS(ポリオプラス・ソサエティ)への入会を促進していただけたらと思います。入会者には、地区から感謝状とバッジの贈呈をお願いします。ポリオプラス基金へ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

10月24日の世界ポリオデーに、ロータリー会員には、予防接種の重要性を地域社会に伝えることが奨励されています。世界ポリオデーフォトコンテストにも応募いたしましょう。

昨年末、変異ポリオウイルスによるポリオ発生を食い止めるために欠かせない新しい手段として、画期的なポリオワクチン(nOPV2)をWHOが承認されました。

これからも、GPEI (Global Polio Eradication Initiative)パートナーと共に活動を続けていきます。

持続的な政治的・資金的コミットメントがあればこそ、世界は今後も、ポリオのない世界の実現に向けて前進していくことができるでしょう。

世界のどこかにポリオが存在する限り、世界中の子供達が感染する危険に晒されています。

この疾病を根絶するためにどうか皆様のお力をお貸しください。

一緒に行動を起こすことで、ポリオのない世界を実現できます。

ロータリーと共にポリオ根絶を実現しましょう。



ポリオのない世界まであと少し





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

292

2024年7月12日
発行

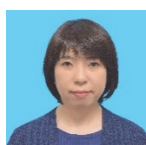
1 米山記念奨学会 事務局長交代のお知らせ

6月30日をもって、^{ゆのきひろこ}柚木裕子が事務局長を退任し、7月1日より^{みな じゅんこ}峯純子が新たに事務局長に就任しました。なお、柚木前事務局長は、1年間アドバイザーとして事務局をサポートします。



【退任のご挨拶】

世界中がコロナ禍の対応に追われていた2020年7月に事務局長に就任し、ロータリー活動自体にも制限がかかる中、米山奨学事業は各地区と共に工夫を重ね、困難に耐え、乗り切ることができました。ひとえに、ロータリー会員の皆さまの熱き心、そしてご理解と努力の賜です。2023年度は米山学友による世界大会「再会 in 関東」の開催など、コロナ以前の明るさが戻りました。多くの米山学友から「懸け橋になりたい」、「恩返ししたい」という心強い言葉を何度も聞き、当事業に尽力された皆さまの積み重ねの成果として実感しています。感謝の気持ちと共に、当事業を率いるに相応しい^{みな じゅんこ}峯純子新事務局長にバトンを繋ぎます。皆さまの多大なるご支援、本当にありがとうございました。



【就任のご挨拶】

このたび柚木前事務局長の後任として事務局長に就任いたしました。歴代事務局長の中では最年少ですが、当財団に入職して21年になる経験の全てを生かし、この歴史ある奨学事業をさらに発展させ、次代に引き継ぐ役目を果たすべく誠心誠意努める所存です。VUCAと呼ばれる先の見通せない時代において、当財団も今後より一層、さまざまな変化への対応が必要になるものと思います。ご支援いただいておりますロータリー会員の皆さま、役員の方をはじめ、関係する皆さま方のご指導とご協力を頂きながら、職員一同、その変化をプラスの力に換えて、この素晴らしい事業の発展のために尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2 第2580地区米山学友会 40周年記念総会開催

7月6日、国際ロータリー第2580地区米山学友会の40周年記念総会が都内にて開催され、米山学友59人、現役奨学生35人を含む140人が集いました。当会からは若林紀男理事長、峯事務局長が臨席しました。



ら「ロータリー・米山梅吉・学友会」というテーマで、これまでの歴史についてお話されました。続けて、現在伊藤忠総研に勤める^{チヨウワイリン}趙瑋琳さん（2008／東京自由が丘RC）が登壇し、

3部構成で行われた第1部は、会長のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15／東京江東RC）の開会の辞、若林理事長、同地区の石川彌八郎ガバナーの挨拶に続き、学友会の活動・会計決算・監査報告が行われました。また、新年度会長および役員を選任が行われ、楊子明さん（2002-03／東京新橋RC）が会長に選出。登壇した楊さんは、今後の活動方針を発表し、学友会の活動強化や規模拡大などを掲げました。

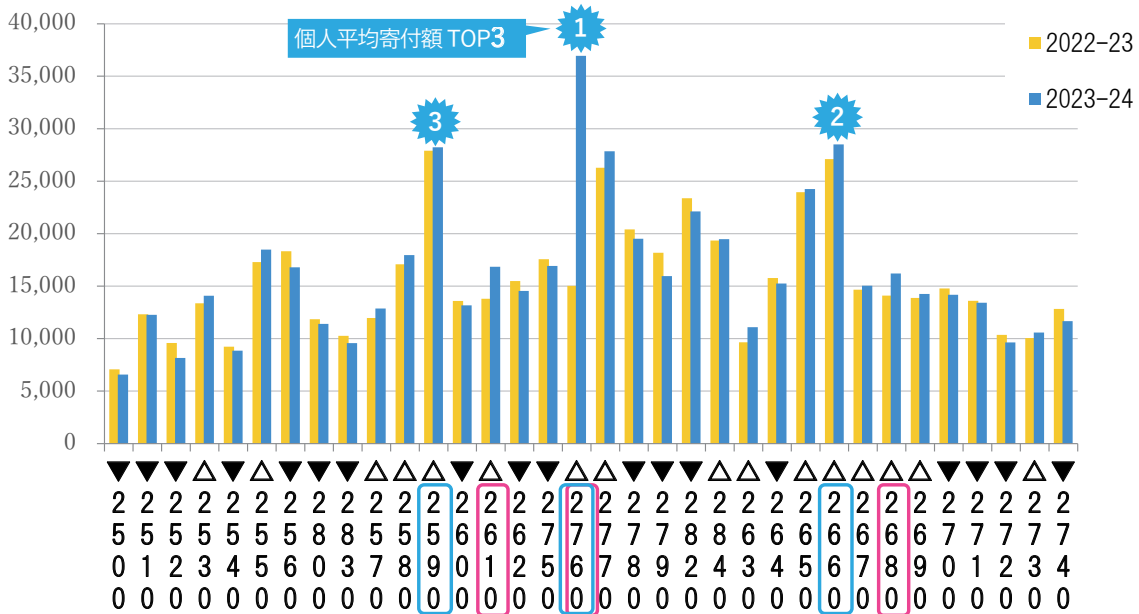
第2部の講演会では、当会の鈴木喬評議員か

「アジアの激変、挑戦と輝く未来」というテーマで、アジアの情勢や、ASEANの成長などについて講演。質疑応答では複数人が手を挙げるなど、有意義な時間となりました。

懇親会が開催された第3部では、米山奨学生・学友による楽器演奏、民族舞踊、マジックなどが次々に披露され、大きな盛り上がりで温かい拍手に包まれました。この日、米山学友たちは口々に再会の喜びや日々の感謝を伝え、40周年という節目を盛大に祝う1日となりました。

3 2023-24 年度 寄付金結果

2023-24 年度の寄付金は約 14 億 4,600 万円となりました。前年度比 1.6% 増 (普通寄付金: 0.16% 増、特別寄付金: 2.18% 増)、約 2,300 万円増加しました。とりわけ、年度初めの 7 月初旬に入金された 1 億円の高額寄付により、寄付総額は前年度を一度も下回ることはありませんでした。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2024 年度も引き続き、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：17,293 円】

- 1 第 2760 地区：36,935 円
- 2 第 2660 地区：28,501 円
- 3 2590 地区：28,232 円

前年度比伸び率 TOP3

- 1 第 2760 地区：245.7%
- 2 第 2610 地区：122.1%
- 3 2680 地区：115.0%

4 重要無形民俗文化財「相馬野馬追」を観覧

5 月 26 日、国際ロータリー第 2530 地区の米山奨学生 20 人とそのカウンセラーなどを合わせた 60 人が、相馬野馬追を観覧しました。

今回のイベントは、福島県で最も有名な伝統文化にもかかわらず、これまで米山奨学生を連れていく機会がなかった、ということで原町中央 RC が主体となり企画。地区のサポートを受けながら、実施に至りました。



当日は、南相馬市原町区特設の栈敷席「御行列」や、相馬野馬追の目玉である「甲冑競馬」、加えて「神旗争奪戦」といった歴史絵巻を見学しました。参加したベトナム出身のドン ティ

ハーさん (2023-25/原町中央 RC) は、「相馬野馬追を通じて、日本の文化と南相馬について理解を深めることができました」と、感想を述べました。

ベトナム南米山学友会 第 1 期総会 開催のご案内

2024 年 7 月 28 日 (日) 13:00~14:30 (ベトナム時間) / 15:00~16:30 (日本時間)

■オンライン参加可能

※※ 申し込み期限：7/15(月)まで ※※

申込・詳細は QR コードから



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾(ながお)

お知らせ

ロータリー文庫 <https://www.rotary-bunko.gr.jp/>目ホーム
HOME🔍 書籍検索
Search📖 利用案内
Information

📞 お問い合わせ

🗨️ 文庫について
About Us

文庫通信 387号：日本のロータリー100年

[クラブ年史 100周年記念誌 \[100年史\]](#) -/大阪 R.C. 2023 417P[クラブ年史 100周年記念誌 \[奉仕の道 100年\]](#) -/東京 R.C. 2021 107P● [ロータリー日本 100年史 本誌](#) 2021 305P● [ロータリー日本 100年史「100人のロータリアン ロータリーの本棚」](#) 2021 283P● [ロータリー日本 100年史「年表・資料」](#) 2021 177P● [日本分割推移図（地区変遷）ロータリー日本 100周年年表・資料より抜粋](#) 2021 2P

● 印発行：ロータリーの友・ロータリー日本 100年史編纂委員会

◎ [日本のロータリー100周年 ビジョンレポート 2020 アンケート結果報告書](#) 2021 539P◎ [日本のロータリー100周年 ビジョンレポート 2020 本編](#) 2021 65P

◎ 印発行：日本のロータリー100周年実行委員会 ビジョン策定委員会

[日本のロータリー100周年に寄せて 国際ロータリーの変質〈講演・卓話集〉](#)

新藤信之/- 2021 117P

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階

TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

Japan Rotary Clubs Library

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。

ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

コラム



今月号表紙

『日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会』宇都宮市

住宅街の一角に、大谷石蔵とは違った建物がひときわ目を惹く。大谷石の持つ素朴で自然な風合いを生かしたキリスト教のプロテスタント系である宇都宮聖ヨハネ教会の聖堂である。平成二五年、第一六回宇都宮市まちなみ景観賞を受賞した。

2024年8月1日

ガバナー月信編集チーム

【発行責任者】

地区幹事 金子昭彦(鹿沼RC)

【メンバー】

櫻井武彦・瀬谷一世・星野詠一・香川道雄・

内野義忠・浅野知則 以上 鹿沼RC

市田ガバナー公式Instagram

市田ガバナーの活動の様子など
情報発信しています！
ぜひフォローお願いします。



@GOVERNOR_ICHIDA.2550

ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財
鹿沼秋まつり彫刻屋台

今月の彫刻屋台：「銀座二丁目」

旧称は上横町。昭和29年に銀座二丁目と改称した、古くからの商店街である。弘化4年(1847)の大火で屋台は類焼にあい、嘉永6年(1853)から屋台建造に入り、安政4年(1857)に再建されている。屋台建造費は、その他の経費を除いて200両近くかかった。

古くからの屋台では柱飾り彫物を有する唯一のものである。鬼板(おにいた)と懸魚(げぎょ)の「巨大な鳳凰」、桜樹を骨組みに「花鳥」を配した外欄間と障子回り、高欄下(こうらんした)と車隠しが一体となった力強い「波に竜」、内琵琶板と内欄間(うちらんま)に5匹の「親子獅子」など、全体としての調和のとれた構図が当屋台の見どころであり、棟梁音次郎の特色でもある。脇障子の彩色された玉をつかんだ「波に双竜」の彫物は、とても見ごたえがある。脇障子の下の部分には亀も配されている。県・市の助成にて昭和63年度に屋根と車輪、平成10年に彫刻ほか全面修復が完成した。(昭和58年市指定有形文化財)

